

【目 次】

はじめに	i
1 新しいまちづくりビジョン策定の趣旨	i
2 新しいまちづくりビジョンの役割	i
（1）新しいまちづくりの基本的考え方	i
（2）新しいまちづくりの具体的ガイドライン	ii
第1編 新しいまちづくりの基本的考え方	1
新しいまちづくりの必要性	1
1 まちをとりまく現状と問題点	1
（1）人口減少と急速な少子高齢社会の進行	2
（2）自動車の普及（モータリゼーションの進展）	3
（3）都市の郊外化と低密度化	5
（4）自然環境への負荷の増大	6
（5）中心市街地の空洞化	8
2 このまま進んだ場合のまちの姿	10
（1）生活利便性が低下する暮らしにくいまち	10
（2）地域の魅力を喪失したまち	10
（3）持続可能な発展が困難なまち	10
3 新しいまちづくりの必要性	11
4 先進的な取組み	12
（1）欧州での取組み	12
（2）国内での取組み	14
新しいまちづくりの基本的考え方	16
1 基本的考え方	16
（1）新しいまちづくりに求められる要素	16
（2）新しいまちづくりの主体	19
（3）新しいまちづくりの4つの視点	20
2 新しいまちづくりの基本目標と実行戦略	22
（1）新しいまちづくりの基本目標	22
（2）新しいまちづくりの実行戦略	22
第2編 新しいまちづくりの具体的ガイドライン	24
新しいまちづくりの実践	24
1 新しいまちづくりを進めるための土台づくり（ひと・なかま・計画）	24
（1）新しいまちづくりを担うひと・なかまづくり	25
（2）まちづくりの目標・計画づくり	38

2	安全・安心・快適に過ごせるまちなか機能の充実	4 5
(1)	まちなかに必要な機能	4 6
(2)	まちなかに求められる施設・サービス	4 7
(3)	まちなかの居住環境づくり	5 2
3	いつでもまちなかを楽しめる魅力ある商業・商店街の再生と賑わい創出	5 5
(1)	商業・商店街の再生	5 6
(2)	心地よい商店・商店街づくり	6 4
(3)	集まり・回遊する仕掛けづくり	6 5
4	まちなかと田園地域等の共生と地域の資源を生かした交流・観光の促進	6 9
(1)	まちなかと田園地域等の共生	7 0
(2)	世代間交流・学生との連携	7 1
(3)	まちなかの情報発信	7 2
(4)	地域資源を生かした交流・観光の促進	7 3
5	まちなかへ人が集まり、多様な手段で回遊できる交通システムの構築	7 6
(1)	まちなかへアクセスしやすくする(つなぐ)	7 7
(2)	まちなかで移動・回遊しやすくする(めぐる)	8 2
(3)	まちなかで安全・安心・快適に過ごせるようにする(くつろぐ)	8 6

継続的なまちづくりのために 8 8

1	次世代の担い手を育てる	8 8
2	活動資金を集める	8 8
(1)	自立的なまちづくりを進めるために多様な資金を確保する	8 8
(2)	事業の中に収益事業を組み合わせる	9 0
(3)	継続的な取組みを進めるために自主財源の充実を図る	9 1
3	まちを広報する	9 2
(1)	効果的なPR(広報)を行う	9 2
(2)	PRの方法を考える	9 3
4	まちづくりを評価し、改善して次につなげていく	9 6
(1)	まちづくりの指標等を設定して事業を評価する	9 6
(2)	P D C Aサイクルを導入して絶えず改善を図っていく	9 6
(3)	地域住民等へ結果を公表し、意見を取り入れる	9 7
5	まちづくりの計画の策定	9 8
(1)	中心市街地活性化基本計画	9 8
(2)	商業まちづくり基本構想	9 8
6	県の役割	9 9
(1)	新しいまちづくりの普及	9 9
(2)	主体的・継続的なまちづくりの支援	9 9

資料編	101
1 持続的なまちづくりのための総合的な取組み	101
(1) 歩いて暮らせるまちづくり社会実験の取組み	101
2 Q & A	110
3 事例集	112
4 まちづくりのモデルパターン	142
5 用語集	147

本文中にある「^(こめ)」表記については、資料編の「5 用語集」で解説
しています。